



絵本とアートでSDGs

2021年3月号

「あっ！これってSDGsだ！」 「ねえ、これって防災につながるね！」 そう！身の回りにはSDGsや防災・減災につながるものがたくさんあります。むずかしく考えずに、絵本とアートで日々の生活に取り入れてみませんか？

12 つくる責任
つかう責任



暮らし×SDGs

買い物をする時、どこで作られたものかを考えるその場所のことを知りたくなります。どんな海を泳いできた魚なのか？どんな畑で育った野菜なのか？ いろいろな食材を口にする私たち。口に入るものは安全なのか？と考えると今自然界で起きていることを知るきっかけにも繋がります。商品についている「海のエコラベル」などのマークを知り、選んで買うということをしてみましょう。



朝日 仁美

絵本でSDGs推進協会代表理事
学校司書 絵本専門家

SDGsforSchool認定エデュケーター

3月のおすすめ絵本



いのちのたべもの

作：中川ひろたか
出版社：おむすび舎

今日の夕飯は寄せ鍋。この材料スーパーで選んでかごの中に入れていく男の子が主人公です。

お母さんから頼まれたリストにそって売り場を探し会計を済ませるとお母さんから袋詰めするのに「陸のものと海のものにわけてみて」と言われます。

私たちの食べているものがどこから来たか？やひとのからだはなにできているの？という話に広がったりする食に対する大切なことが分かる絵本です。

11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
具体的な対策を



防災×アート



色画用紙や折り紙などに絵を描いて、家やお店屋さんを作ります。ベースの模造紙に並べて貼り道を描いたら、みんなで紙の雪を降らせます。

予め道にボンド水を塗っておくと雪が貼りつき素敵な『雪の降る町』の完成です。



石橋 幸子

NPO法人アトリエPetata理事長
保育士 防災士 絵本専門家

3月のおすすめ絵本



ぼくのまちをつくろう！

作：スギヤマ カナヨ
出版社：理論社

どんな町が理想？と聞かれてもすぐに思いつかないかもしれません。

ですが、真っ白なページと「ぼくの家」から始まるこの絵本は、読み進めるにつれ想像力がふくらんでいくことでしょう。

絵本を閉じて、さっそく「自分たちの町」が作りたくなったら、ぜひ左の『防災×アート』を参考にしてください。